

様式(7)

報告番号	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: inline-block; text-align: center; vertical-align: middle;">甲保</div> 第 33 号 乙保
論文内容要旨	
氏名	杉本 博子
題目	<p>The Relationship among Chronic Disease, Feeling-for-Their-Age, Sleep Quality, Health-Related Quality of life and Activities of Daily Living of Community-Dwelling Persons over 55 Years of Age</p> <p>(地域で生活している55歳以上の方の慢性疾患, 年齢の捉え方, 睡眠の質, 健康関連 QOL, 日常生活行動との関係性)</p>
<p>本研究の目的は、地域で生活している 55 歳以上の方の慢性疾患, 睡眠の質, 健康関連 QOL, 日常生活行動の関係性について明らかにすることである。</p> <p>調査対象者は、57 歳から 90 歳の A 病院の外来患者 161 名 (平均年齢, 76.16±7.75 歳) であり, 調査期間は 2016 年の 7 月から 2017 年の 1 月であった。調査内容は, (1)日本語版ピッツバーグ睡眠調査票 (PSQI-J)を用いた睡眠の質の評価, (2) Short-Form 8 Health Survey (SF-8) を用いた健康関連 Quality of Life(HRQOL)の評価, (3)日常生活行動(ADL): 運動, 仕事, 趣味, 日中の眠気, 昼寝, 喫煙, 咀嚼能力, 義歯の有無の評価であった。睡眠の質および HRQOL に関係している主要な要因を明らかにするために, 単変量解析を用いて有意差を認めた変数を抽出し, ステップワイズ法でロジスティック回帰分析を行った。統計解析には, IBM SPSS ver. 19.0.を用い, 有意水準は 5%以下とした。</p> <p>睡眠の質が悪い要因では, がんの既往(オッズ比 OR: 3.53, 95%CI: 1.06-11.77), 不眠症(OR: 3.25, 95% CI: 1.55-6.79) があることであった。身体的な HRQOL が低い要因では, 運動器疾患 (OR: 2.60, 95%CI: 1.34-5.07), 呼吸器疾患 (OR: 3.24, 95%CI: 1.27-8.26), 痛み(OR: 11.71, 95% CI: 5.35-25.66) があることであった。貧血は精神的 HRQOL が低い要因(OR: 4.87, 95% CI: 1.11-21.33)であった。</p> <p>一方, 体の年齢の捉え方が実際の年齢よりも若いこと(OR: 0.30, 95% CI: 0.15-0.59)は, 睡眠の質が悪化しにくい。また, 気持ちの年齢の捉え方が実際の年齢よりも若いこと(OR: 0.44, 95% CI: 0.21-0.92)も身体的 HRQOL が低下しにくい。</p> <p>以上のことから, 睡眠の質が悪い要因は, がんの既往であった。睡眠の質に良い要因は, 体の年齢の捉え方が若いことであった。身体的 QOL に良い要因は, 気持ちの年齢を若いと捉えていることであった。</p>	